

幼稚園教師としての教育

富 永 正

幼稚園教師といえ、美と芸術と優雅さが強調された可愛らしい花園のようなところで、無邪気な幼児たちと楽しく遊んで過ごす仕事であつて、子供好きの人なら、いわゆる良家のお嬢さんにも容易にできることのように考えられてきた。しかし、今日の幼稚園の教師は、高い教養と特殊の専門的の知識とを必要とする重要な職業であると考えられるようになった。幼児の研究が進歩し、幼児期の重要性が認められるとともに、幼児教育に携さわる教師の地位はまだ十分に開拓されていない独創的な余地のある新しい分野として他の学校の教師たちに勝るとも劣らない重要なものであることが認められている。

歌や遊戯や絵画が上手であることが重要な資格であると考えられていたが、今日は、これらの創造的な表現活動を指導することの重要性が、新しく認められると同時に、さらに、それらの才能にもま

して、幼児の多方面の活動を通して幼児のいろいろの欲望や必要を洞察したり、幼児の個性を全面的に理解することのできる確実な教養と、それぞれの必要に応じて、適切な指導を与えることのできる専門的な訓練とが重要視されるのである。

音楽は、幼稚園教育にとって、きわめて重要なものであるが、今日の幼稚園の教師は、自ら優秀な音楽の才能の持主であるに越したことはないが、レコード、ラジオ、テープレコーダ等を十分に利用することによって音楽的才能の不足を補うことができる。問題はむしろ、街にはらんしているラジオの歌声やレコードの音楽に対して何を選ぶか、いかなる歌や音楽を使用するかということである。幼児の必要性を理解し、それに適切な音楽を選択し、使用する能力正しい価値判断のできる鑑賞眼と音楽を活用することのできる高い教養とが必要なのである。

同様に、幼稚園の教師は、必ずしも優秀な画家であつたり、彫刻家であるに及ばない。しかし、芸術に対する深い理解を持つ人であり、幼児のそうした創造的な表現活動に対して適切な指導のできることと、その行動や作品から、幼児の個性を発見したり、その内面的な世界を察知したりすることができることが必要なのである。

これらは単に、音楽や絵画の技能的の訓練のみでは成就し得られないものであつて、教師自身の一般教育の水準を高めるとともに、幼児教育に対する専門的研究を深くしなければならぬ。

今日の幼稚園の教師は、幼児研究の十分な理解を持っていないけれどもならない。乳幼児期の成長発達過程とその各段階における特徴とその必要について、家庭生活における親子の關係等について、家

庭を離れて、はじめて幼稚園という新しい環境に移され、新しい教師や友だちと接触したこと、新しい集団生活の経験等によってそこに何が起りつつあるかを十分に知っていなければならぬ。幼児期は人格形成の重要な時期であり、各種の能力の発達のリデインスの形成される時期でもある。この時期にいかなる経験を持ち、いかなる生活を過すかによって、その幼児の個性は変容し、その生涯に大きい影響を及すこととならう。

このような重大な責任を果すために、幼稚園の教師の資格としては、教育に対する十分な理解とその指導の技術等に熟達していることが期待されるが、そのためには、幼児教育の特殊性として心理学的の知識がきわめて重要なのである。幼児の生活やその成長発達の特徴を十分に理解するためには、発達心理学、教育心理学、精神衛生等について知っていなければならない。

昭和二十九年の免許法の改正によって、幼稚園教諭の免許状取得の単位は、二級では、専門八単位、教職一八単位ということになりその内容は、原理二、心理二、保育内容八、実習四、選択二ということになっている。これはもちろん最低を示しているわけであるが免許法の規定であるゆえに、これだけで幼稚園教諭の資格が与えられることになる。しかし、幼児教育の重要性を思い、よい教師の養成を考えるならば、これではいかにも不十分であることを認めるのが一般の意見であらう。

わが国の経済的、社会的の状況から、そのまま比較することは無理ではあるが、アメリカの主な州の幼児教育の教師養成の資格条件としては、幼児教育の準備として承認された大学の四年課程を卒業

し、バッチエラーの学位を持っていること、あるいは大学を卒業して、一年以上、さらに専門的の訓練を受けたものであることが規定されている。わが国の現状としては、たとえ二年課程であっても、幼児教育に専心する優秀な教師を養成することができるようその教育課程の編成を工夫することが肝要であらう。

教職科目としては、既に述べたように、原理と心理の領域において充実を計ること、保育内容の研究と教育実習とが強化される必要があること、専門科目においては、幼児教育に必要な基本的な原理と技能との教科が配置されること、一般教育においては、教師としての広い教養を与えるため、各分野にわたる教科が適当に選択されることを望ましい。

△新刊おしらせ▽

お茶の水女子大学附属幼稚園
幼児教育研究会 編

幼児の教育内容とその指導

A 五上製
二三〇頁
定価三三〇円
下二四円

【内容】 幼児の教育内容を扱うにあたって、健康・運動（一）、健康安全 二、健康習慣 三、運動 四、休息）社会（一）、独立生活 二、友だち遊び 三、集団生活 四、問題解決 五（社会生活） 自然 言語（一、会話 二、お話・紙芝居 三）話し合い・劇遊び 四、絵本・文字）音楽リズム（一、歌 二）リズム 三、楽器 四、鑑賞） 絵画製作

株式会社 フレーベル館